

市営住宅入居者募集

受付日時
平成26年1月22日(水)、23日(木)、24日(金)
10時～16時

受付場所
那覇市民会館 中ホール (2階)

下記の市営住宅の空家待ち待機者順位を、公開抽選により決定します。

平成25年度募集市営住宅															
壺川東改良	若狭改良	識名	久場川	繁多川	新都心銘苅	末吉	安謝	辻	石嶺第二	小祿	汀良	壺川	銘苅	安謝第一	真地

【入居資格および入居基準】

- ①那覇市内に住所を有し、または勤務している方であること
- ②世帯の収入額が法令で定められた基準内であること
- ③その他

*くわしくは、「入居募集のしおり」をご覧ください

【募集のしおり・申込書の配布場所および配布期間】

- 市営住宅課(本庁舎8階)、総合案内(本庁舎1階)、各支所、ホームページ
 - 12月20日(金)～平成26年1月24日(金)
- *閉庁時、土日祝日、年末年始は、本庁1階南側守衛室窓口にて配布します。
*郵送による受付は行っておりません。申込書に必要事項を記入し、受付日にご持参ください



お問い合わせ 市営住宅課 ☎ 951-3242

市の財政状況について～平成24年度決算に基づく「健全化判断比率」をお知らせします～

●健全化判断比率・資金不足比率とは？

「健全化判断比率」とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく右表①～④の指標のことで、自治体財政の健全度を判断するものです。

健全化判断比率のいずれかが「早期(経営)健全化基準」を超えると「財政健全化団体」、さらに悪化し「財政再生基準」を超えると「財政再生団体」となり、財政の健全化や再生のためのさまざまな取組みが必要となります。

また、右表⑤の「資金不足比率」とは、水道および下水道事業の経営状況を判断する指標です。

●市の財政状況は？

実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率については、黒字となることから、「-」%」で表示しています。

実質公債費比率については、仮庁舎用地の公債費元金償還が始まったことにより0.2ポイント上昇していますが、将来負担比率については、退職手当負担見込額の減等により、昨年度よりも改善しています。いずれの比率も基準を下回りましたが、今後とも財政の健全化を進め、各比率の改善に向けて取り組みます。

*本市のホームページでは、詳細な説明を掲載しています。

指標	平成23年度	平成24年度	早期(経営)健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-%	-%	11.25%	20.00%
②連結実質赤字比率	-%	-%	16.25%	30.00%
③実質公債費比率	14.0%	14.2%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	131.7%	131.1%	350.0%	
⑤資金不足比率	-%	-%	20.0%	

★財政状況について、くわしくは担当課までお問い合わせください。

お問い合わせ ①～④については、財政課 ☎ 862-9938
⑤については、上下水道局企画経営課 ☎ 941-7803

ハイサイ! 街角インタビュー



古波 綾 勝美さん
(行政相談委員)

行政と市民との橋渡し役

みなさまは毎日のくらしの中で何か不満を感じたり、悩んだりしていませんか？行政相談委員はみなさまの暮らしの中のさまざまな相談を受け付け、苦情の解決や要望の実現を図っています。市では現在7人の行政相談委員が配置されており、古波綾さんもその一員として活動されています。

実際にどんな相談内容があったかを尋ねると、「道路が陥没し危険だという相談や、敷地内に他人の自転車があるのをみながら困る」という相談が寄せられていました。

古波綾さんは「相談に訪れたときは辛い顔をしていても、わたしたちと話をして、帰るときに笑顔に変わっている」と、本当に嬉しいそうです。これからも行政と市民との橋渡し役としてさまざまな問題に取り組みたいと思っています」と意気込みを語ってくれました。

環境トピック

りっか! 雨水・井戸水を利用しよう!

市は、年間平均2,000mm以上の雨に恵まれていますが、その多くはすみやかに排除され、川そして海へと流れる直線的な水循環となっています。これまで無駄に捨てられていた雨水をタンクなどで賢く使って、お財布に優しい生活をはじめませんか？しかも、今日からできる小さなエコ生活は、地域の環境保全にもつながっていますよ!



雨水タンク

雨水を有効に利用する施設に、雨水貯留施設(雨水タンク)があります。雨水タンクを使うメリットとしては、①水道代の節約、②都市型洪水の軽減、③大災害への備えなどが考えられます。東日本大震災では広い地域で断水になる中、雨水タンクが活躍したとされています。

また、大災害への備えという点では、近年、井戸水が見直されてきています。東日本大震災時、井戸水は飲料以外の生活用水として貴重な水源になりました。非常時はもちろんのこと日常生活においても水不足になりやすい沖縄だからこそ、井戸水の上手な利用が求められています。

井戸水利用施設 (井戸水を汲み上げる施設)



雨水浸透施設

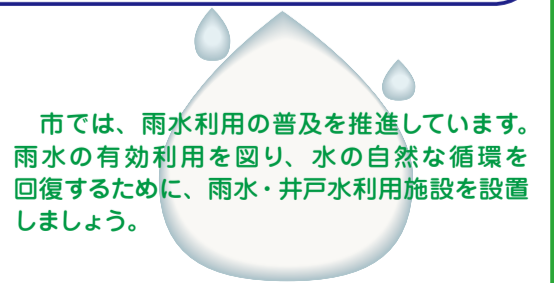
しかし、井戸水をもっと利用するためには、雨水の地下浸透が必要です。雨水浸透施設を設置することで雨水を地下に浸透させ、地下水をかん養することができます。さらに、地下水がかん養されると、地盤沈下の防止や都市部の気温上昇(ヒートアイランド現象)の緩和にも役立ちます。

設置費用を補助いたします!

水資源の有効利用として市内の住宅に雨水を貯めるタンクなどを設置する方に対し、設置費の2分の1を補助します(「設置」には修繕も含む)。上限は4万円です。事前申請が原則となります。くわしくは、ご購入前にお問い合わせください。

*予算に達し次第締め切ります。

【対象】雨水貯留・浸透施設、井戸水利用施設(井戸水を汲み上げる施設)



市では、雨水利用の普及を推進しています。雨水の有効利用を図り、水の自然な循環を回復するために、雨水・井戸水利用施設を設置しましょう。

お問い合わせ 環境保全課 ☎ 951-3229